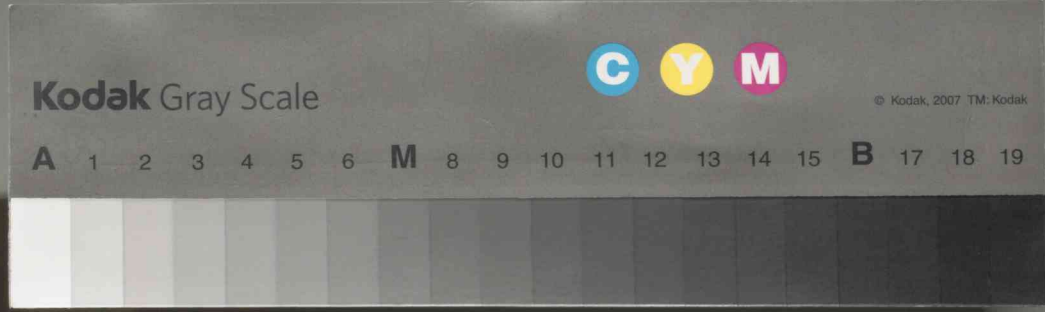


Handwritten Japanese text in a botanical dictionary or field notebook. The text is organized into columns and rows, with some entries including small illustrations or specific plant names. The left page has a header with various plant categories like '藍科' (Blue), '山菜科' (Mountain vegetable), etc. The right page continues with similar entries, including '玄參科' (Scrophulariaceae) and '茄科' (Solanaceae).







Handwritten Japanese text in a vertical columnar format, organized by botanical categories. The text is written in a cursive style on aged paper.

**Left Page Categories:**

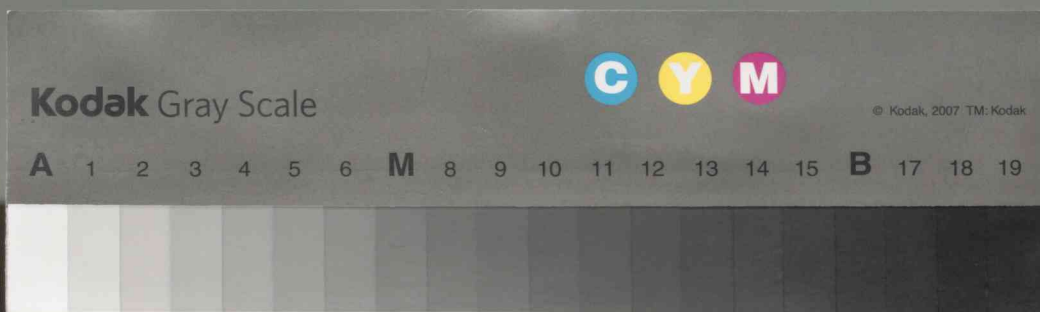
- 石竹科 (Ishibiki-ka)
- 菘杏科 (Sōkyō-ka)
- 馬齒莧科 (Bachōgan-ka)
- 樟科 (Shō-ka)
- 木通科 (Mōtō-ka)
- 小蘗科 (Shōnō-ka)
- 木蘭科 (Mokurō-ka)
- 毛茛科 (Mōryō-ka)
- 理連科 (Rinren-ka)
- 瞿粟科 (Kokumoku-ka)
- 十字花科 (Jūshūka-ka)
- 莖菜科 (Shōsai-ka)
- 景天科 (Keiten-ka)
- 椴桐科 (Sutō-ka)

**Right Page Categories:**

- 金糸桃科 (Kinsuimomo-ka)
- 山奈科 (Yananai-ka)
- 芋蓴菜科 (Yumōsai-ka)
- 錦葵科 (Kinkui-ka)
- 旋花科 (Genka-ka)
- 醉蝶草科 (Suidōsō-ka)
- 鳳仙花科 (Hōsenka-ka)
- 芸香科 (Geikō-ka)
- 椴科 (Sutō-ka)
- 毒木科 (Dokumoku-ka)
- 添樹科 (Senshū-ka)
- 無患子科 (Mōkanji-ka)
- 槭樹科 (Kishū-ka)
- 衛矛科 (Eimō-ka)
- 冬青科 (Tōsei-ka)
- 薔薇科 (Bōi-ka)
- 八角科 (Pachylobotrya-ka)
- 黃楊科 (Kōryō-ka)







Handwritten Japanese text in a vertical columnar format, organized by botanical categories (科). The text is written in a cursive style (sōsho) on aged paper.

Categories and examples of text include:

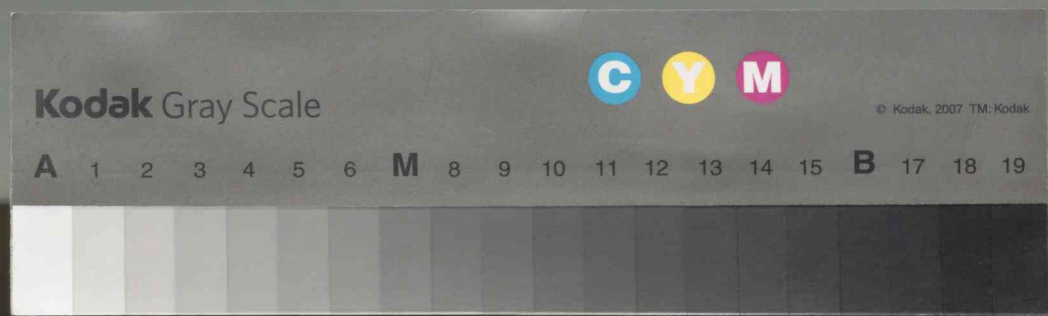
- 蘭科 (Ran-ka): 本 蘭 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 木本科 (Mokpon-ka): 木 本 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 草科 (Kus-ka): 草 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 浮萍科 (Uyuei-ka): 浮 萍 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 天南科 (Tenan-ka): 天 南 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 香蕁科 (Kōjū-ka): 香 蕁 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 鴨跖科 (Yakushoku-ka): 鴨 跖 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 薯蕷科 (Shoyū-ka): 薯 蕷 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 蒼尾科 (Sōei-ka): 蒼 尾 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 燈心草科 (Tōshin-ka): 燈 心 草 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 石蒜科 (Ishikan-ka): 石 蒜 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 百合科 (Yūrei-ka): 百 合 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 穀精草科 (Kōshō-ka): 穀 精 草 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね
- 雨久花科 (Ukigusa-ka): 雨 久 花 科 花 び ね 花 び ね 花 び ね









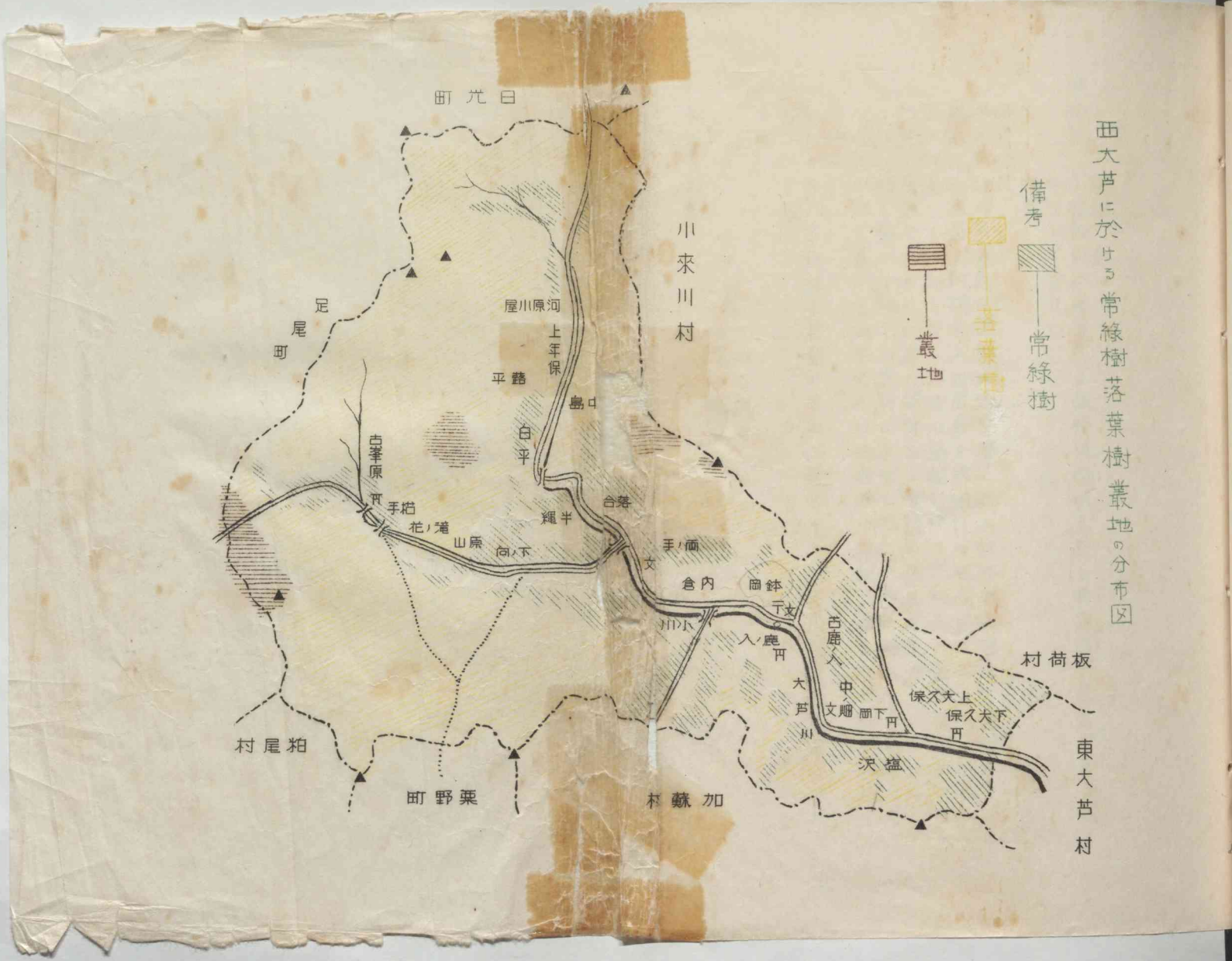
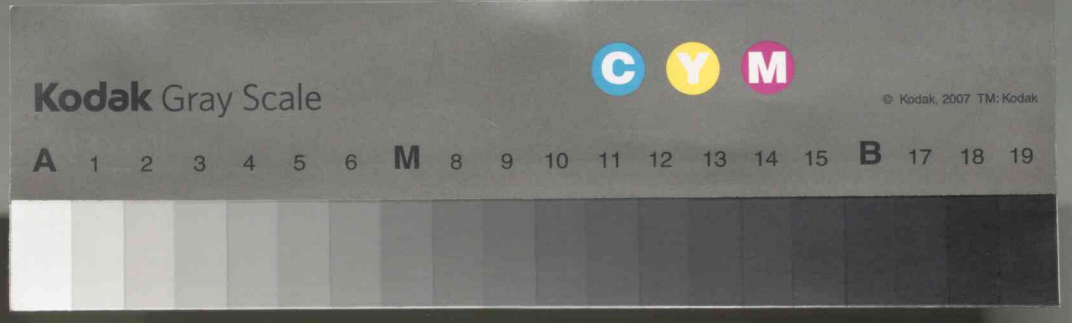
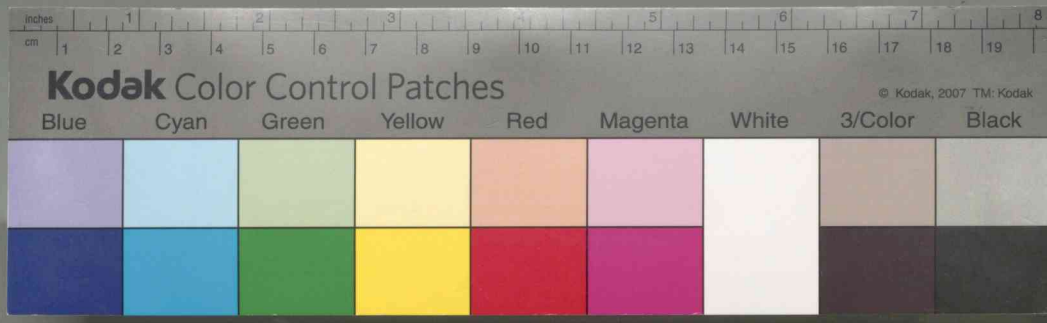


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13



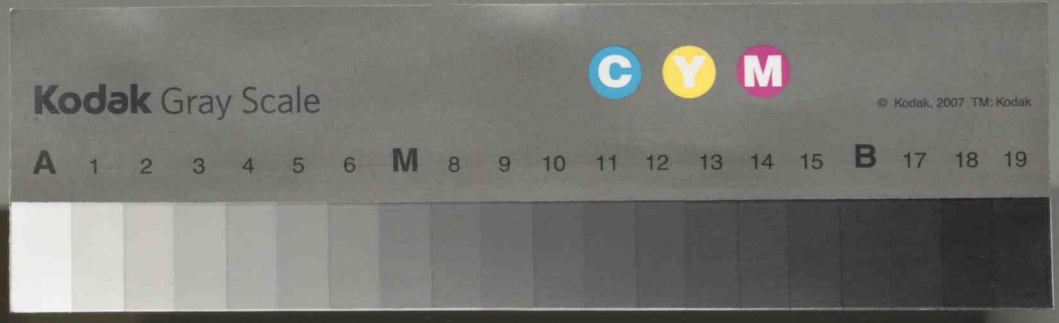




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料







第六章

満庵鉦

鉦石 鉦山  
小松地内に産出する満庵口魂状を有し母岩は水成岩である脈状  
をなして居る

一 昇育順序  
西大芦地域の基底の岩盤は地質學上古代の海底泥土の沈積によつて  
成る粘板岩で所謂秋父古成層と同時代の水成岩である太古代終つて  
海水退却して陸地となり地層の緊縮に伴つて地表に緩急の褶曲が出来  
地の變動のためには地層の傾繁ある裂縫の成生を見な  
この裂縫を襲ひて地表に若くは地表近く凝結したものが石英斑岩であ  
水成岩の上を蓋ひて地表に若くは地表近く凝結したものが石英斑岩であ  
る以上が西大芦地域の岩盤とも云ふ可きもので花崗岩石英斑岩水成岩か  
ら成つて居る

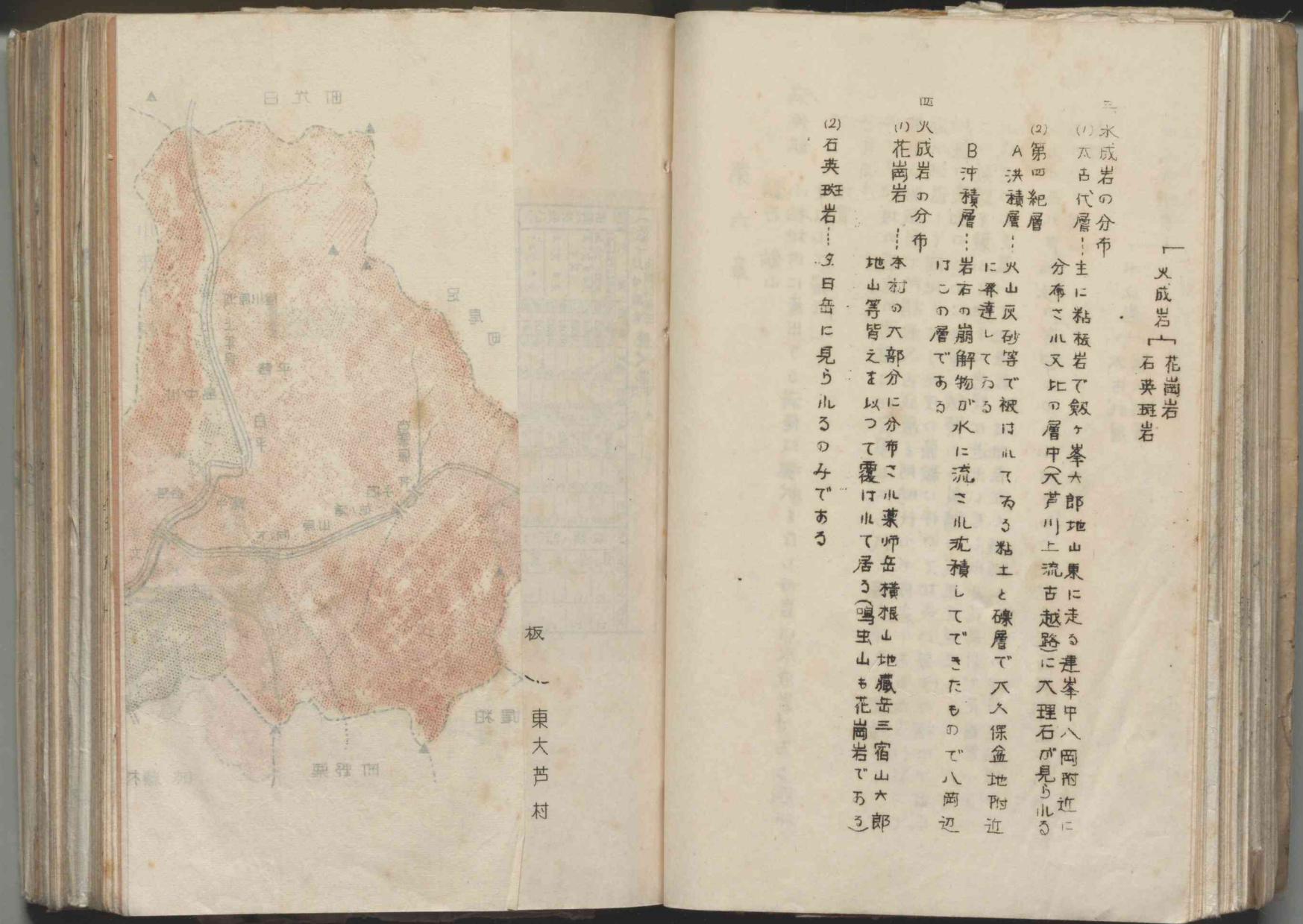
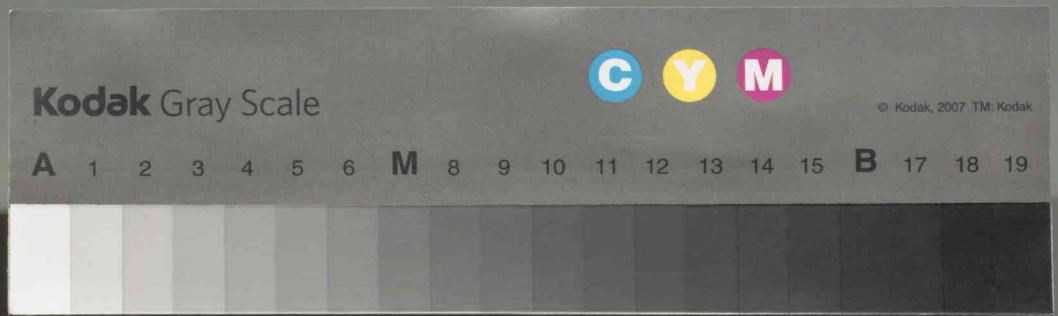
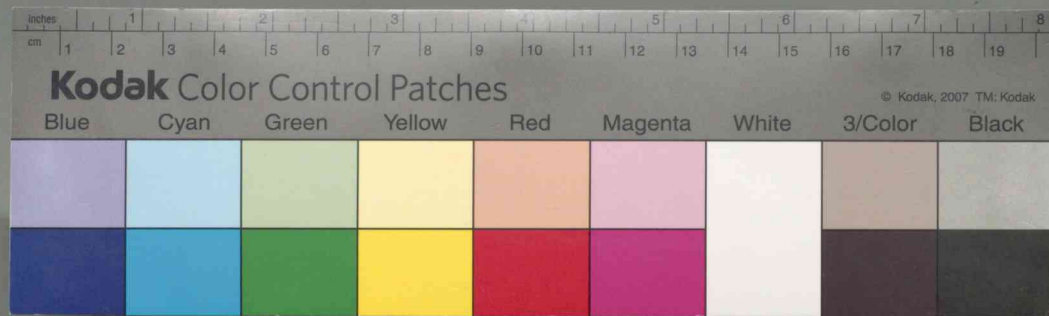
二 表解

西大芦地質  
水成岩  
太古代層  
第四期層

西大芦の地質 常新樹 荅葉樹 葉葉樹 赤杉 杉







「火成岩」花崗岩  
石英斑岩

三 水成岩の分布

(1) 太古代層 主に粘板岩で、銀ヶ峯、大郎地、山原に走る。建峯中八岡附近に分布せし、又比の層中、大芦川上流、古越路に、入理石が見られる。

(2) 第四紀層

A 洪積層 火山灰砂等で被せられてある粘土と礫層で、八保盆地附近に発達してある。

B 沖積層 岩右の崩解物が水に流され、堆積してできたもので、八岡辺にこの層である。

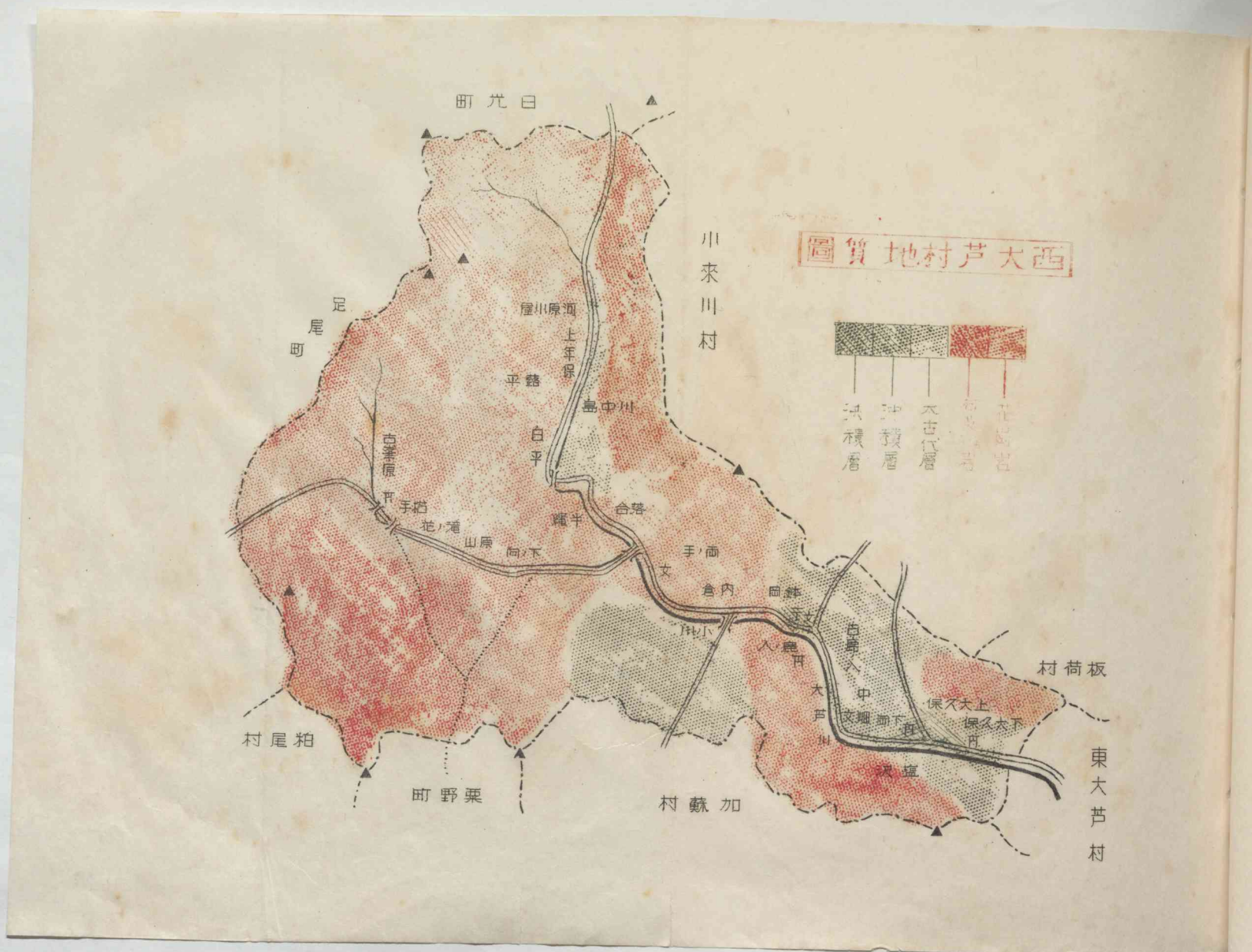
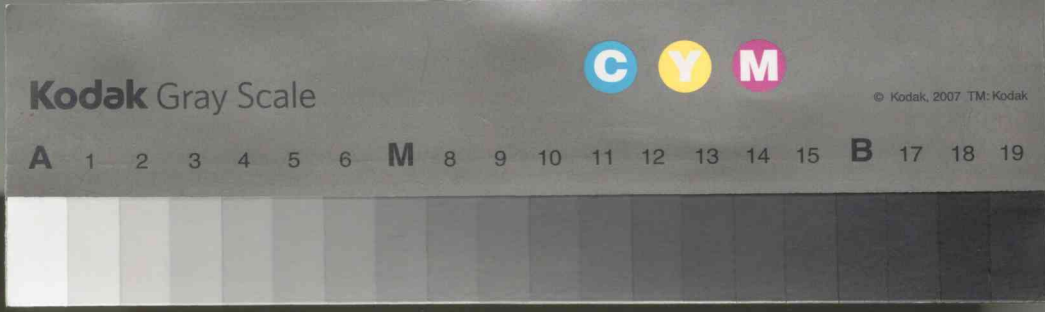
四 火成岩の分布

(1) 花崗岩 本村の大部分に分布せし、東大芦、横根山、藏岳、三宿山、大郎地、山等皆之を以て覆はれて居る。鳴虫山も花崗岩である。

(2) 石英斑岩 大芦に見られるのみである。



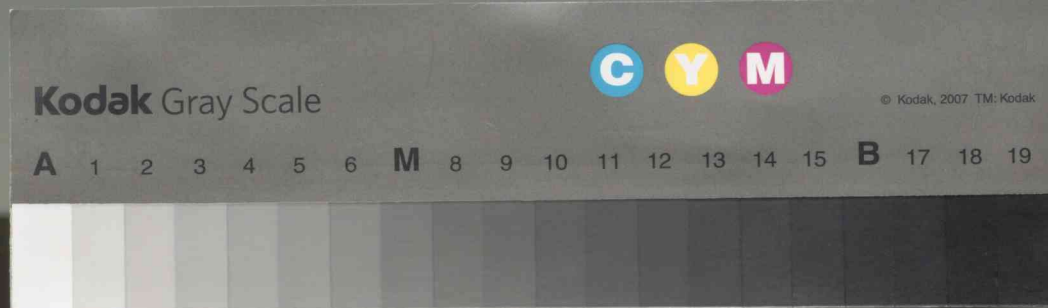




水成岩の分布  
 (1) 太古代層！主に粘板岩で、鉾ヶ峯大郎地山東に走る連峯中八岡附近に分布せし、又比の層中(大芦川)上流古越路に入理石が見らるる  
 (2) 第四紀層  
 A 沖積層！火山灰砂等で被けられてゐる粘土と礫層で、八保盆地附近に発達してゐる  
 B 沖積層！岩石の崩解物が水に流され、堆積してできたもので、八岡辺の火成岩の分布  
 (3) 花崗岩！本村の大部分に分布せし、葉師岳、横根山、地蔵岳、三宿山、大郎地山等皆之を以つて覆はれて居る(鳴虫山も花崗岩である)  
 (4) 石英斑岩！尤日岳に見らるるのみである





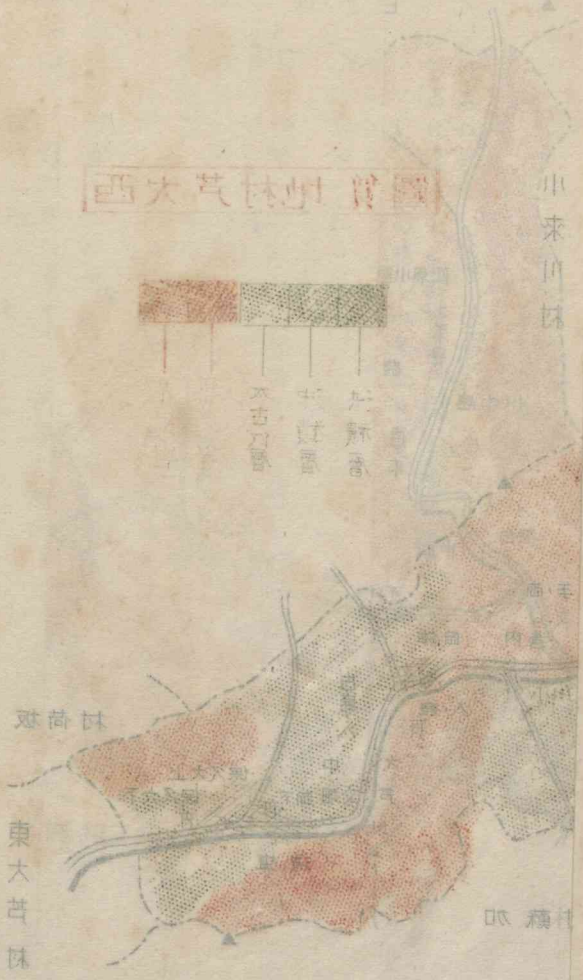


(特) 生徒児童用 購入券

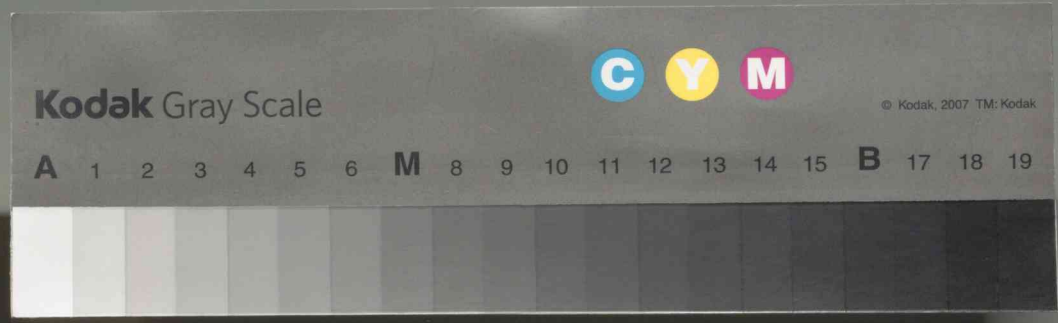
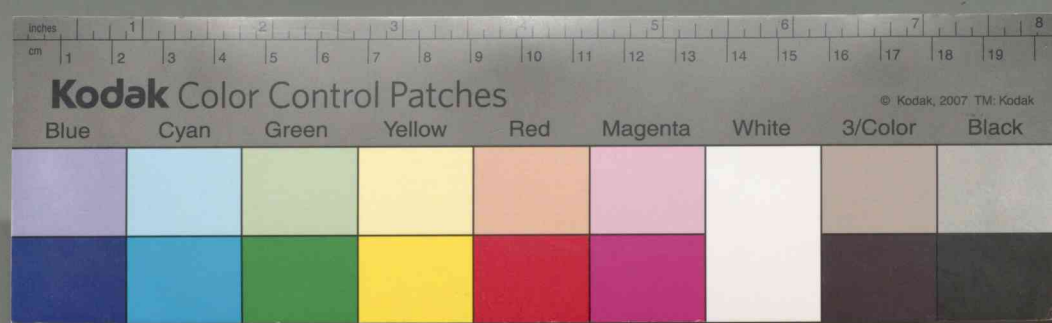
品名	数量	価格	合計	備考
交	12.10	10.0%	12.10	
右靴 (特級品)	10.32	10%	10.32	
9.7文 9.8文	9	文	87.3	
8.5文 8文	11	文	94.5	
7.5文 7文	11	文	86.0	
婦人用特級品	11	文	110.0	
特級品	10.52	10%	10.52	
男子用特級品	10.32	10%	10.32	
地下足袋	全	上	570円	
新靴	全	上	270円	

(1) 長心的なる最上級品に付品保証書を添付しこれを責任を負ふ。  
 (2) 特別価格の多量品は同品品目表に限りあり一人二足以内。  
 (3) 上記価格には同品品目表に限りあり三割安である。  
 (4) 此の券は取扱部外の流通しない。

西大芦地区





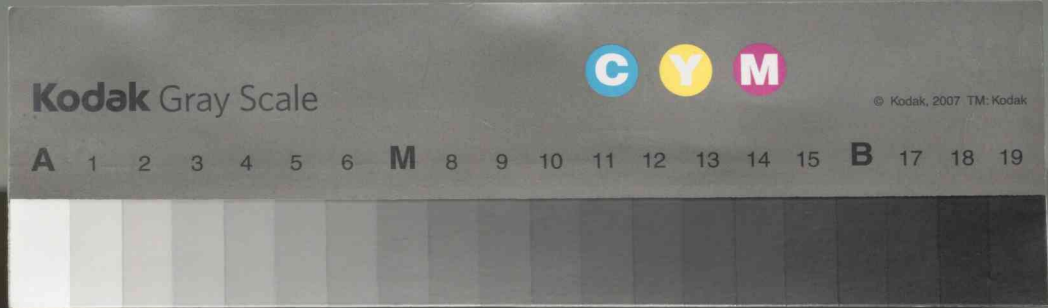


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





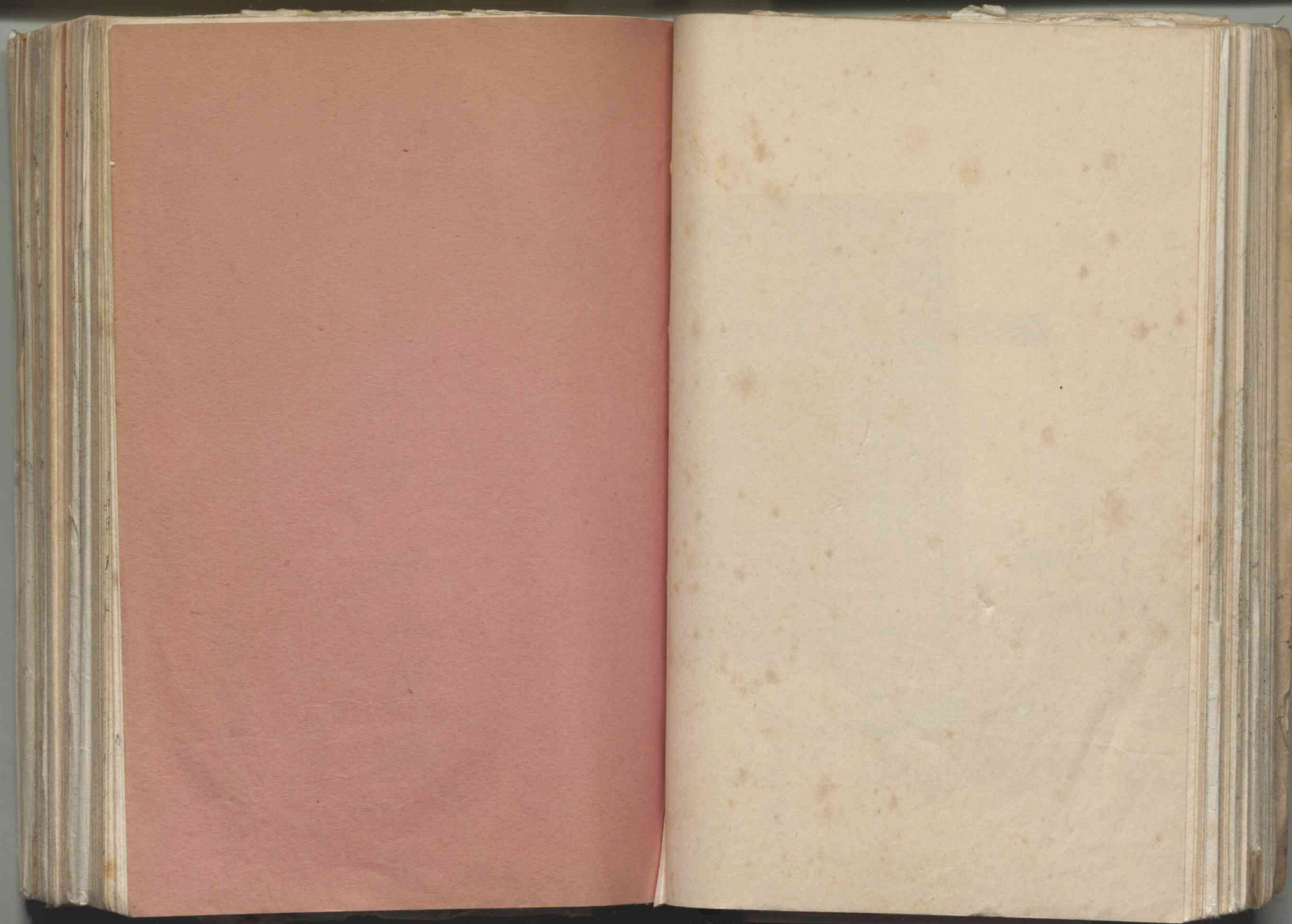
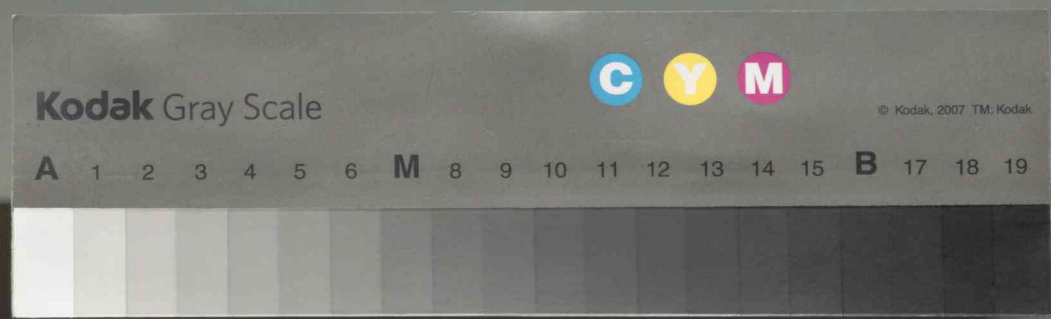


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





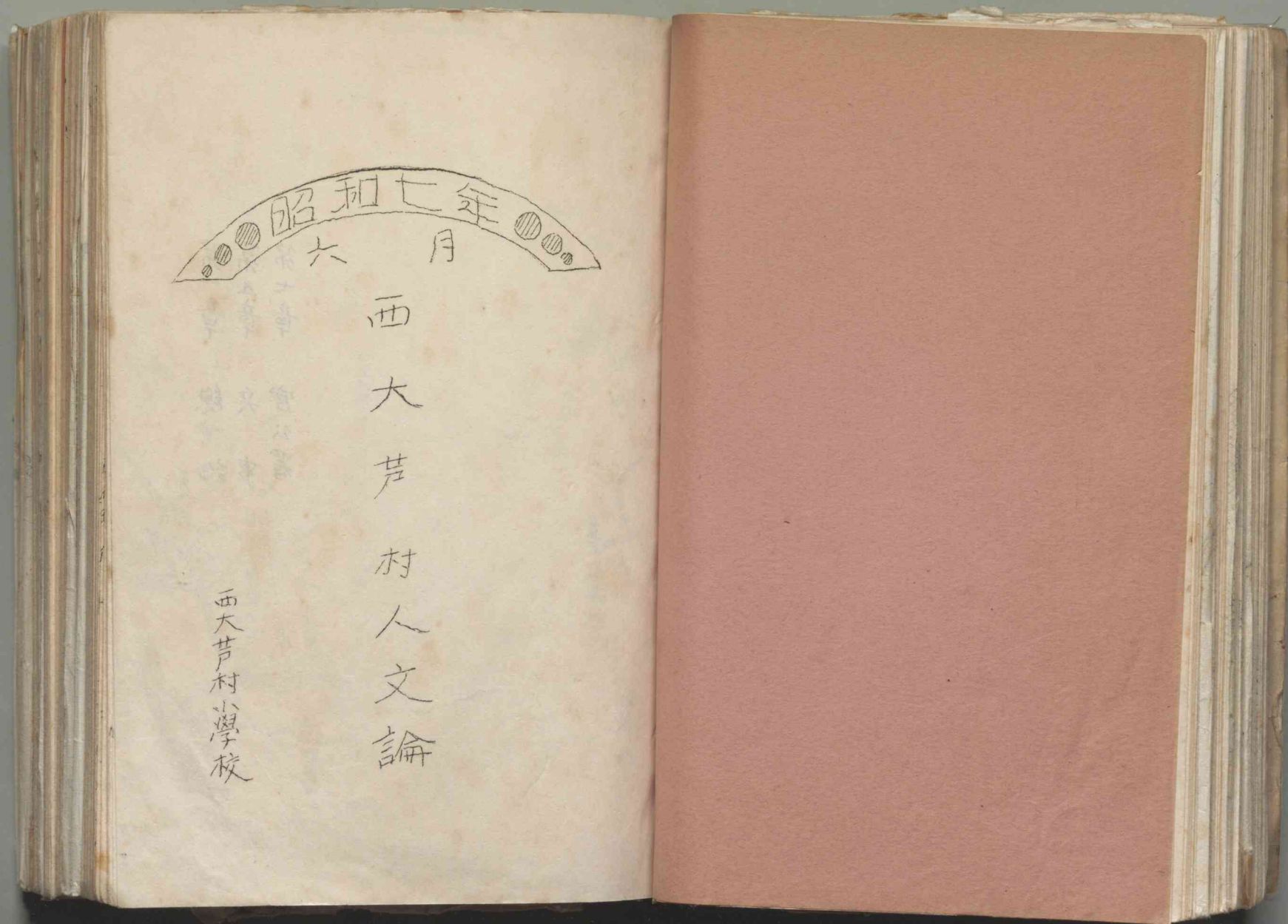
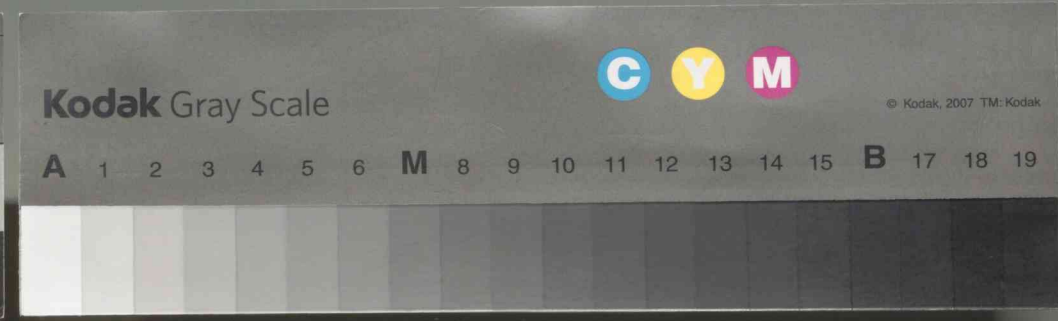


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





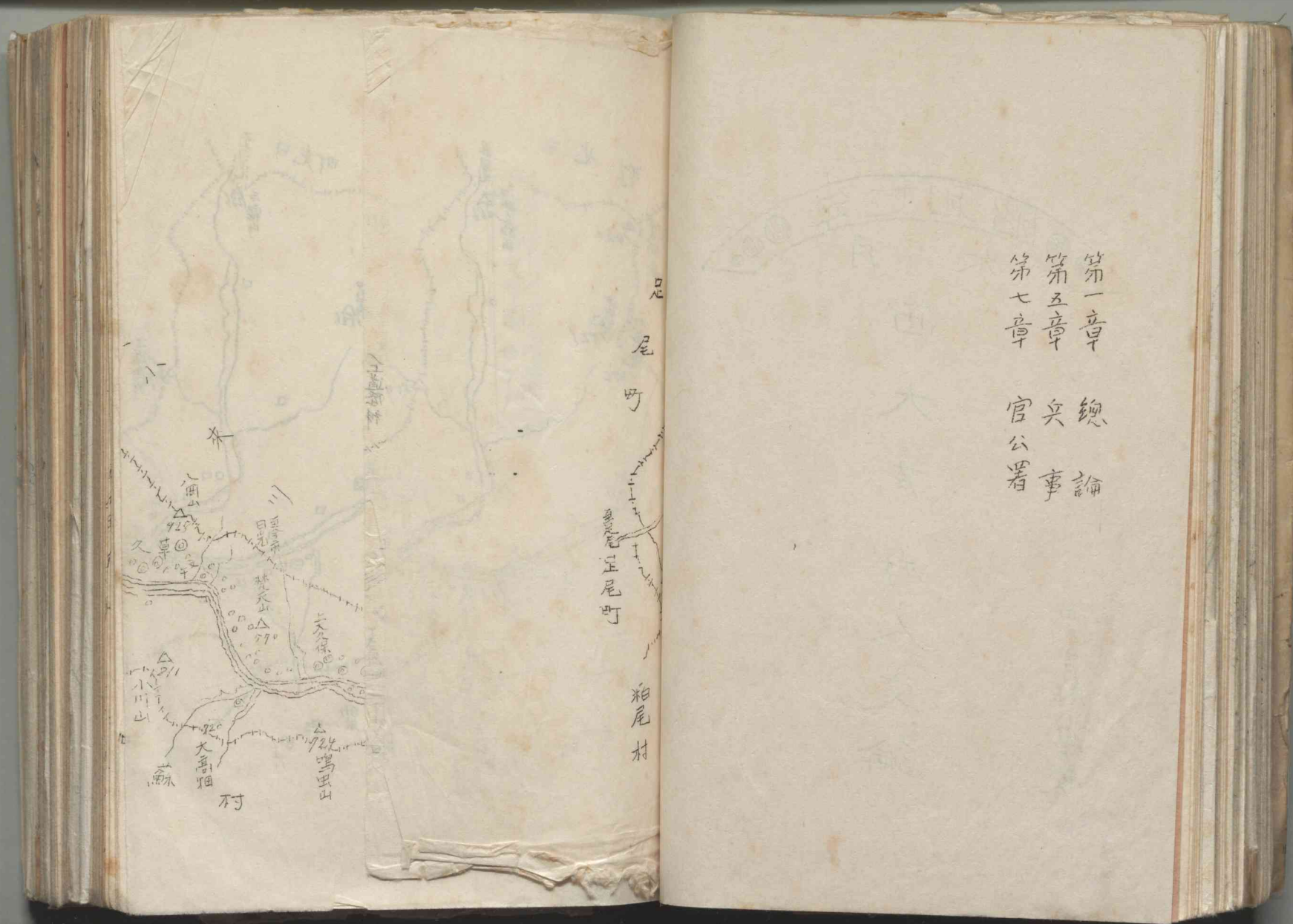
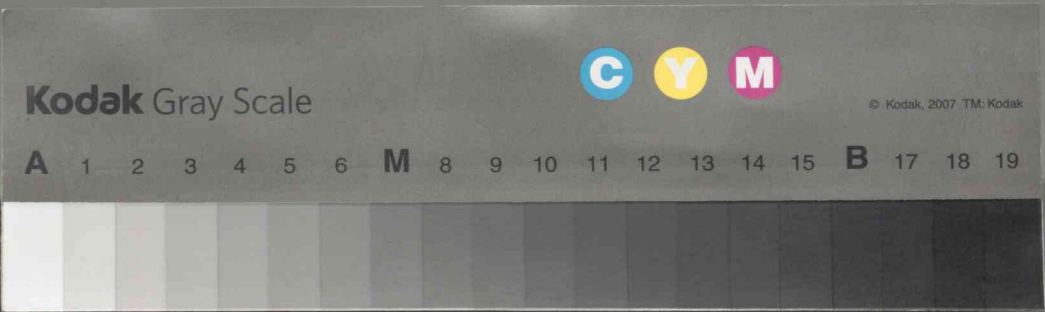


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13





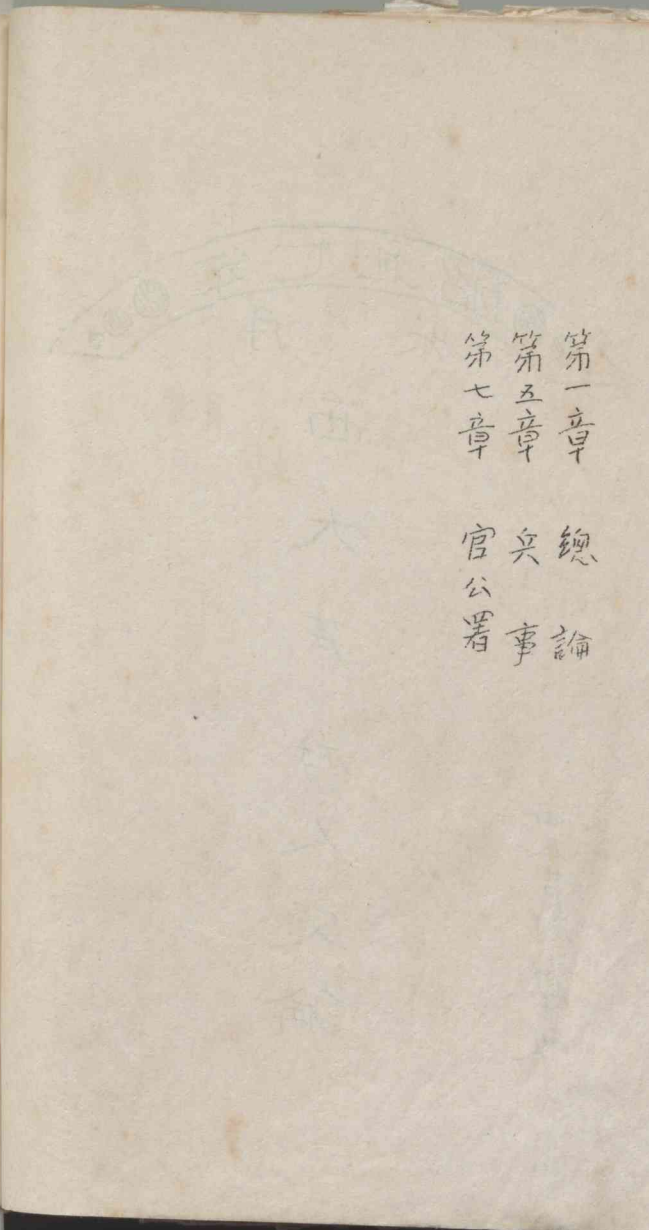
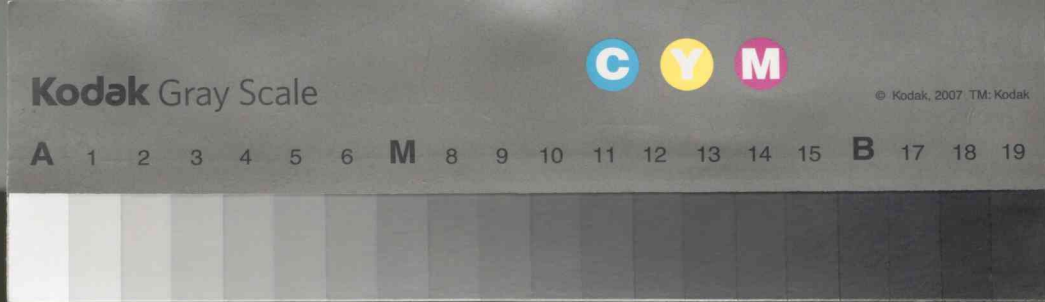


492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料

13



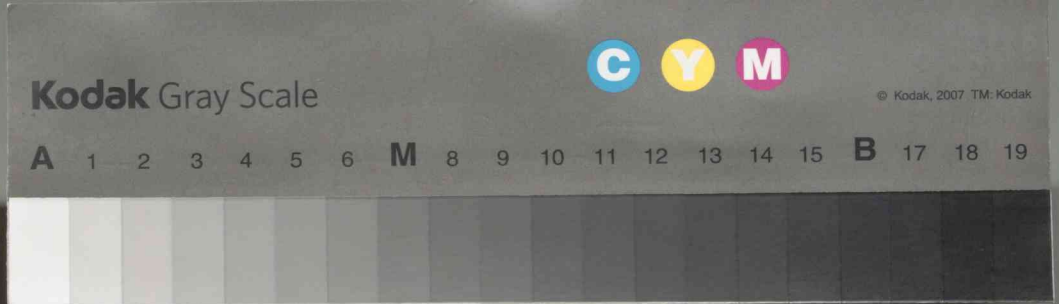




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料



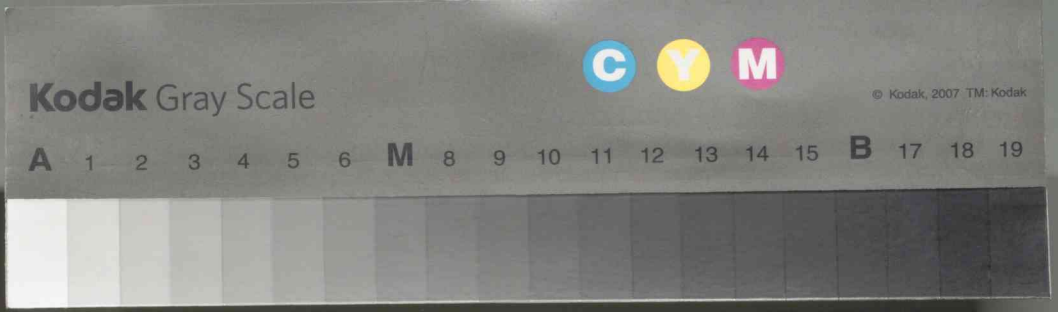




492 西大芦地区 西大芦小学校所蔵資料



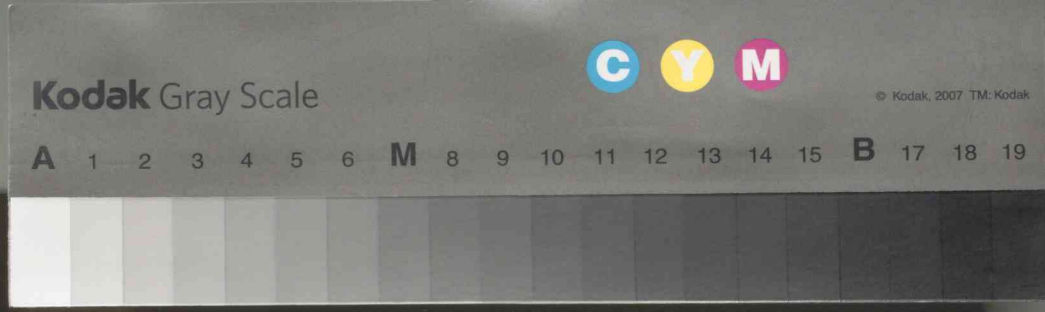
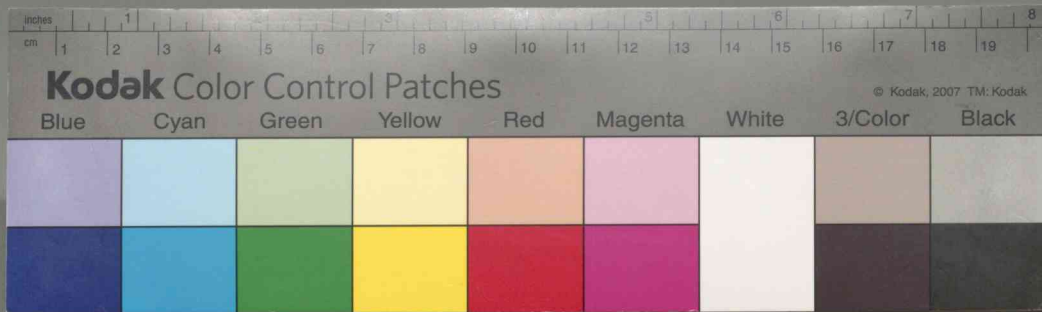












輜重特務兵  
輜重兵  
工兵  
砲兵  
騎兵  
步兵

豫後 豫後 豫後 豫後 豫後 豫後  
備備 備備 備備 備備 備備 備備  
役役 役役 役役 役役 役役 役役

六九一〇一二三四三六  
人人人人人人人人

四十九  
五十九  
人

四十四人  
二人  
四人  
十三人  
四人  
五十四人

第五章 兵事  
西大芦村陸海軍々々人 (昭和七年調べ)  
補充兵

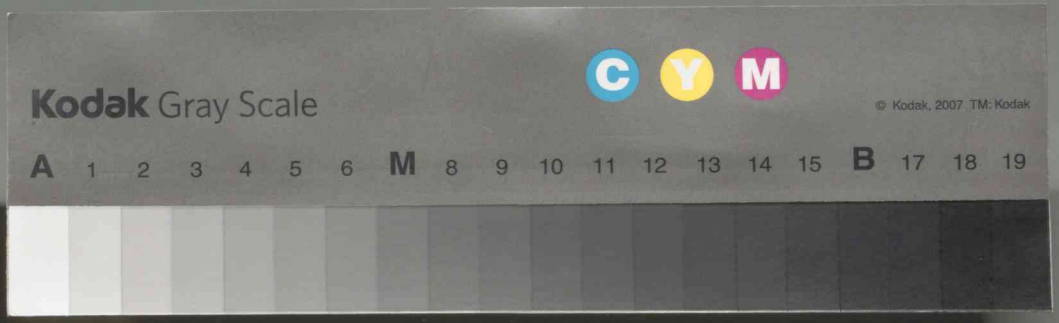
業別	業無		業有							
	其他、無業者	土地家屋有價證券者	公務	交通	商業	工業	水産	飼畜	林業	養蚕及各種製造業
合計	七	六	二	三	三	一	六	一	一	一
四一八	七	六	二	三	三	一	六	一	一	一
三五三	一	一	一	九	五	一	三	七	六	二
七七	一	一	一	四	四	一	三	七	一	一
七一	七	六	一	五	一	一	一	二	五	六











西大芦村出征軍人戰死若久病後者名

所屬部隊 西大芦村出征軍人戰死若久病後者名

近衛歩兵第三聯隊第六中隊 現役兵歩兵一等卒 石原卯之吉  
明治十四年三月廿六日生

負傷の場所及罹病の場所 明治十五年七月至清國盛京省撫子谷附近戰闘に下頭部在液下貫通銃創  
 死云の場所 死云の場所

今日令所に於て即死(死体發見)

所屬部隊 兵種 役官等級

近衛歩兵第三聯隊第二中隊 豫備役歩兵一等卒 福田源五郎  
明治十年一月十八日生

負傷の場所及罹病の場所 明治三十七年八月十三日清國橋頭に於て腸管扶助に罹り

死云の場所 死云の場所

今年九月八日清國橋頭に定立病院に於て死云

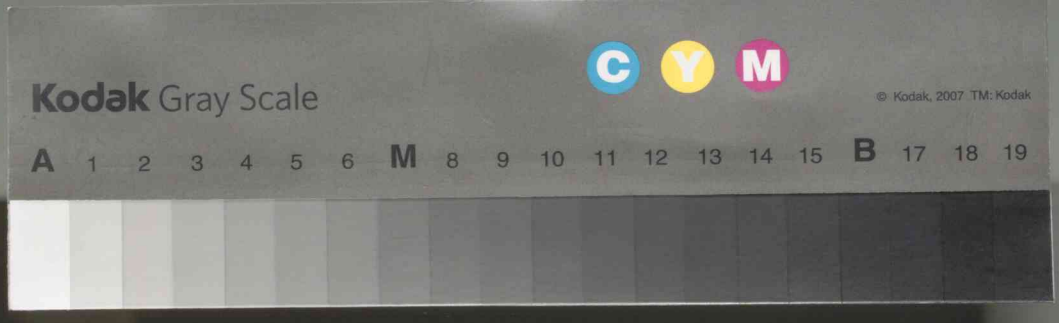
昭和三十二年支那事變に於て勤勞賞賜金受領者

昭和三十六年一月二十四日

兵種官等	下附年月日	恩賜金額	受領者
上等兵	昭和三十六年一月二十四日	金二十五円	吉澤功七
一等卒	昭和三十六年一月二十四日	金二十五円	大貫要一
上等兵	昭和三十六年一月二十四日	金二十五円	石原愛作
一等卒	昭和三十六年一月二十四日	金十七円	青木岩作
一等卒	昭和三十六年一月二十四日	金十七円	福田四郎
一等卒	昭和三十六年一月二十四日	金十七円	大貫彦三郎
一等水兵	昭和三十六年一月二十四日	金三十円	大貫喜造







所屬部隊  
 近衛步兵第三聯隊第廿中隊  
 現役兵歩兵一等卒  
 大貫 甲子 造  
 明治九年四月九日生  
 負傷の場所及罹病の場所 (功七 勳八)  
 明治三十七年六月十二日清國老君峪北方高地に於て胸部貫通銃創を受り  
 死すの場所  
 同日今所に於て即死 (死体発見)

兵種役官等級  
 大貫 甲子 造  
 明治九年四月九日生

所屬部隊  
 近衛師團第六補助輸平隊  
 補充兵輜重輸卒  
 上 澤 谷 一  
 明治十五年十二月十三日生  
 負傷の場所及罹病の場所  
 明治三十七年十一月十七日清國遼陽に於て脚氣兼腸重積斯病に罹り  
 死すの場所  
 明治三十八年一月七日東京豫備病院山分院に於て死す

兵種役官等級  
 上 澤 谷 一  
 明治十五年十二月十三日生

所屬部隊  
 近衛步兵第三聯隊第廿中隊  
 現役兵歩兵一等卒  
 福 田 吉 治  
 明治十六年五月廿五日生  
 死すの場所 (功七 勳八)  
 今年十月十四日清國下老君峪近衛師團第一野戰病院に於て死す

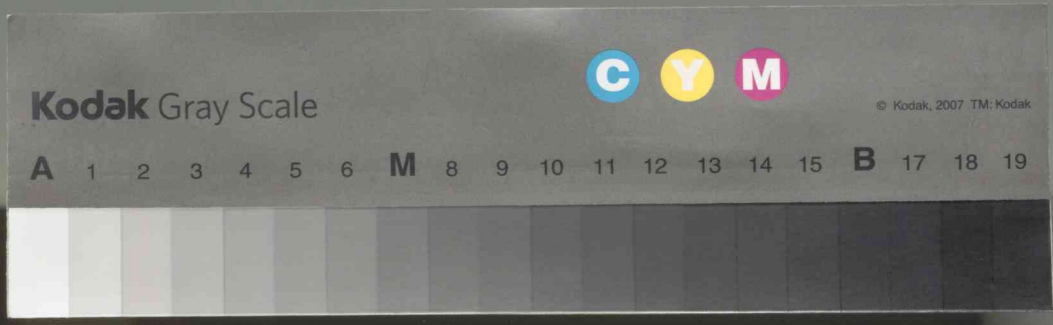
兵種役官等級  
 福 田 吉 治  
 明治十六年五月廿五日生

所屬部隊  
 近衛步兵第三聯隊第廿中隊  
 現役兵歩兵一等卒  
 大 橋 啓 吉  
 明治十三年八月廿五日生  
 負傷の場所及罹病の場所  
 明治三十七年九月十日清國四方自附近に戦闘に於て頭部貫通銃創を受り  
 死すの場所 (功七 勳八)  
 今年九月二日清國四方自近衛師團第一野戰病院に於て死す

兵種役官等級  
 大 橋 啓 吉  
 明治十三年八月廿五日生







所屬部隊  
第七師團步兵第六聯隊第二中隊  
現役兵、歩兵二等卒  
高代名 高山 常太郎  
明治十五年三月十五日生  
明治三十七年十月三日 旅順西北標高之高地に於て頭部及軀幹砲創ヲ受ク  
死亡。場所

所屬部隊  
第七師團步兵第六聯隊第二中隊  
現役兵、歩兵二等卒  
吉代名 澤 彌作  
明治十五年三月十四日生  
明治三十八年三月五日 清國本島及堡附近に於て面部貫通創ヲ受ク  
死亡。場所

所屬部隊  
第七師團步兵第六聯隊第二中隊  
現役兵、歩兵二等卒  
大代名 貫 米四郎  
明治十七年一月十四日生  
明治三十八年十月十日 清國盛京省間家七に於て腸管扶助斯病ニ罹ル  
死亡。場所

所屬部隊  
第七師團步兵第六聯隊第二中隊  
現役兵、歩兵二等卒  
佐藤 八重作  
明治三十八年七月七日 清國盛京省大台患者療養所に於て死亡

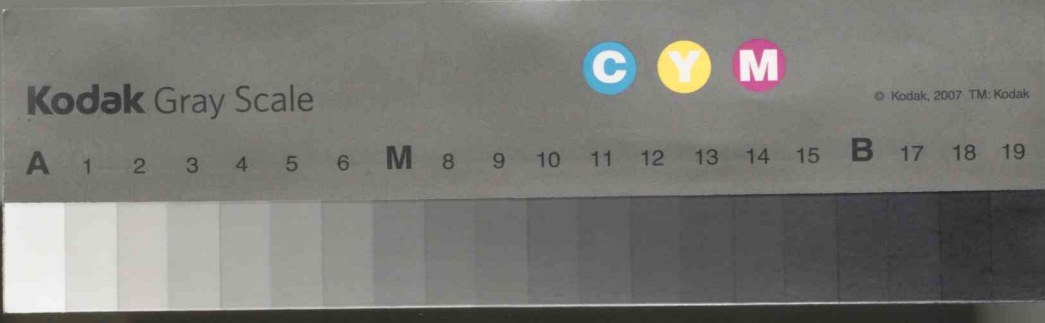
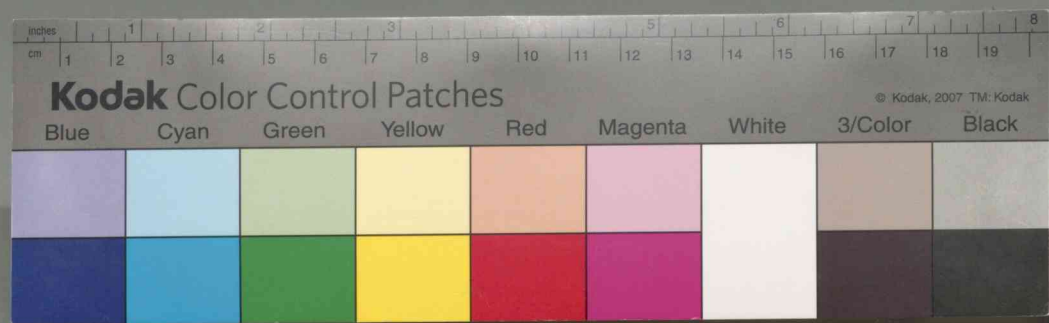
第一師團輜重兵大隊  
第二中隊輜重輸卒  
近衛步兵第四聯隊第一大隊二屬に明治三十八年九月二十日台北に於て腸管扶助斯病ニ罹リ明治三十八年十二月二十日台灣基隆兵站病院に於て死亡ス











昭和三十二年壯丁者		昭和三十四年壯丁者		昭和三十五年壯丁者	
體格等位	兵種假決	體格等位	兵種假決	體格等位	兵種假決
甲種第一等	步兵	甲種第一等	步兵	甲種第一等	步兵
乙種	騎	乙種	騎	乙種	騎
丙種	砲	丙種	砲	丙種	砲
丁種	水	丁種	水	丁種	水
其他	看	其他	看	其他	看
入營者	步兵六名	入營者	步兵三名	入營者	步兵七名
野砲	一名	野砲	一名	野砲	一名
輜輸	二名	輜輸	一名	輜輸	二名
學	一	學	一	學	一
人員數	四五	人員數	五二	人員數	四四

昭和二年壯丁者		昭和三年壯丁者		昭和四年壯丁者	
體格等位	兵種假決	體格等位	兵種假決	體格等位	兵種假決
甲種第一等	步兵	甲種第一等	步兵	甲種第一等	步兵
乙種	騎	乙種	騎	乙種	騎
丙種	砲	丙種	砲	丙種	砲
丁種	水	丁種	水	丁種	水
其他	看	其他	看	其他	看
入營者	步兵九名	入營者	步兵一名	入營者	步兵七名
工兵	一名	工兵	一名	工兵	一名
輜輸	二名	輜輸	二名	輜輸	二名
看護卒	一名	看護卒	一名	看護卒	一名
水兵	一名	水兵	一名	水兵	一名
學	一	學	一	學	一
人員數	四七	人員數	四五	人員數	四四

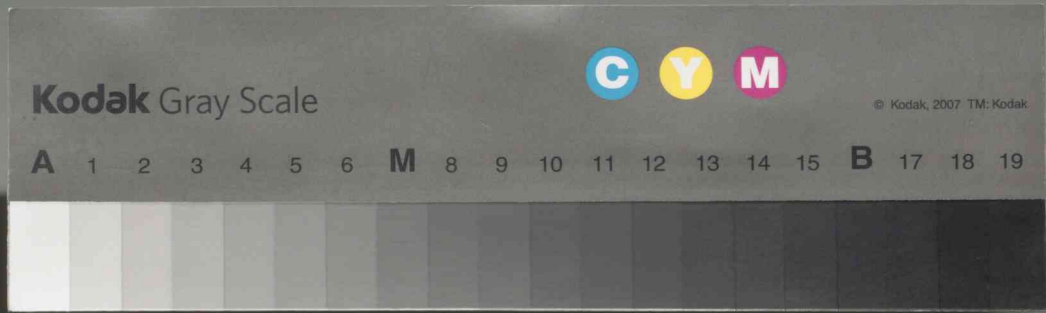








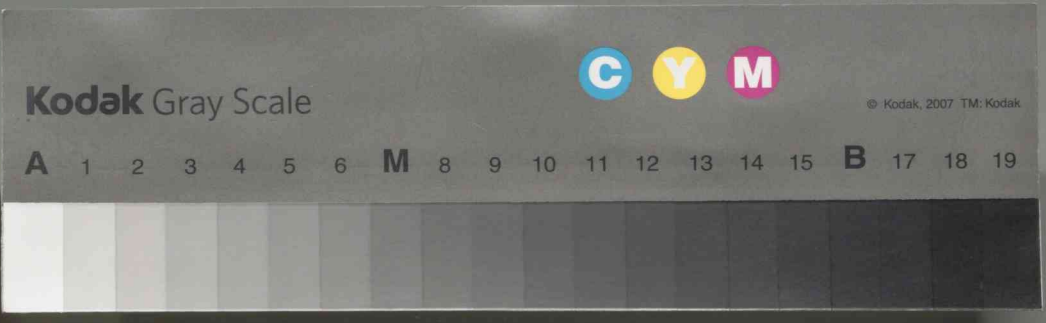




書記	助役	村長	雇	雇	雇	書記	雇	雇	雇
明治三五年十月三日	明治三五年十月三日	明治三五年十月三日	明治三四年九月九日	明治三四年九月九日	明治三四年九月九日	明治三四年九月九日	明治三三年六月三日	明治三三年十月十日	明治三三年十月十日
草久	草久	草久	草久	草久	草久	草久	鹿沼西	工久保	草久
明治三九年十月七日	同上	明治三九年十月七日	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
星野亥四郎	福田管三郎	福田彌五八	福田徳次	上澤喜四郎	星野亥四郎	星野壬平郎	重田代太郎	並木和造	佐藤朝次

收入役	有給 助役 村長	雇	雇	雇	書記	雇	雇	書記	木長
明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日
草久	草久	草久	草久	草久	草久	草久	草久	草久	工久保
明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日	明治三二年三月三日
上澤專造	神家満三郎	福田管三郎	大貫專造	足立輪次郎	福田宜弘	大貫專造	佐藤峯四郎	福田管三郎	並木佐一





收入役	名譽村長	有給助役	書記	書記	收入役	書記	村長	雇	雇
明治四五年五月廿日	明治四五年五月廿日	明治四五年四月十日	明治四五年四月十日	明治四五年五月十日	明治四五年四月十日	明治四五年四月十日	明治四五年五月十日	明治四五年五月十日	明治四五年五月十日
草久	草久	草久	草久	草久	草久	下久保	草久	下久保	草久
大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日	大正三年四月廿四日
大貫原之六	大貫福太郎	上澤專造	上澤喜四郎	柴田源三郎	大貫源之六	佐藤龍吉	上澤代八	檀新太郎	吉澤庄作

雇	名譽助役	村長	收入役	有給助役	雇	雇	雇	雇	書記
明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日
下久保	草久	下久保	全	全	全	全	全	全	草久
明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日	明治九年八月廿日
佐藤龍吉	大貫福太郎	檀照吉	金子喜市	上澤專造	上澤正作	福田智榮	石原傳松	福田智榮	上澤喜四郎

